
 **MOVE/MRI.COM-JPN Dataset**

1. 識別情報

名称	MOVE/MRI.COM-JPN Dataset
略称	MOVE-JPN 2020
DOI	doi:10.20783/DIAS.639 [https://doi.org/10.20783/DIAS.639]
メタデータID	MOVEJPN_MRI_2020240726144532-DIAS20221121113753-ja

2. 問合せ先

2.1 データセットに関する問合せ先

名前	気象研究所
組織名	気象庁
住所	日本, 305-0052, 茨城県, つくば市, 長峰1-1
電子メールアドレス	jpninfo@mri-jma.go.jp

2.2 プロジェクトに関する問合せ先

2.2.1 データ統合・解析システム

名前	DIAS事務局
組織名	国立研究開発法人海洋研究開発機構
住所	日本, 236-0001, 神奈川県, 横浜市, 金沢区昭和町3173番25
電子メールアドレス	dias-office@diasjp.net

3. ドキュメント作成者

名前	気象研究所
電子メールアドレス	jpninfo@mri-jma.go.jp

4. データ作成者

名前	気象研究所
電子メールアドレス	jpninfo@mri-jma.go.jp

5. ドキュメント作成年月日

2024-07-26

6. データ作成年月日

7. データセット概要

7.1 序論

気象庁気象研究所によって開発された海洋モデル・データ同化システムを用いて作成したデータセットです。このデータセットは、日本沿岸全域の海洋環境を水平解像度約2kmで再現しています。

物理要素

- * 1日毎(平均)
 - 3次元: 流速uv(nc_u, nc_v)、水温(nc_t)、塩分(nc_s)
 - 2次元: 海面高度(nc_ssh)、海面気圧(nc_slp)、8分潮潮位(nc_tideh)、海氷密接度(nc_ice)
 - 1次元: 全球平均海面気圧(nc_slp_ave)
- * 30分毎(瞬間): 海面流速uv(nc_u_surf_snp, nc_v_surf_snp)、海面水温(nc_sst_snp)

海面高度の海況変動の計算方法

- * 海面高度(海況) = 海面高度 - 海面気圧応答 - 8分潮潮位

詳しくは、https://mri-ocean.github.io/mricom/mri.com-user_usage_notes_start.html#海面高度の海況変動の計算方法 をご覧ください。

ファイル命名規則

- * nc_{var}.{YYYYMMDD}
- * {var}: 変数名
- * {YYYYMMDD}: 年月日

7.2 トピックカテゴリ(ISO19139)

oceans

7.3 時間情報

開始日	2008-01-01
終了日	2019-12-31

7.4 地理的範囲

北限緯度	52
西限経度	117
東限経度	160
南限緯度	20

7.5 グリッド

次元の名称	次元の分割数	次元の解像度
-------	--------	--------

row	1423	1/33 (deg)
column	1604	1/50 (deg)
vertical	60	2-700 (m)

7.6 地理情報を識別する名称

7.7 キーワード

7.7.1 データセットに関連するキーワード

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	Oceans > Ocean Circulation > Ocean Currents, Oceans > Ocean Temperature > Potential Temperature, Oceans > Salinity/Density > Salinity, Oceans > Sea Surface Topography > Sea Surface Height, Oceans > Sea Ice > Sea Ice Concentration	GCMD_science
theme	Models > GCM	GCMD_platform

7.7.2 プロジェクトに関連するキーワード

7.7.2.1 データ統合・解析システム

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	DIAS > Data Integration and Analysis System	No_Dictionary

7.8 データセットに関するオンライン情報

日本沿岸海洋再解析データセット : https://mri-ocean.github.io/mricom/mri.com-user_jpn_start.html

ファイルダウンロード : <https://data.diasjp.net/dl/storages/filelist/dataset:639>

7.9 データ周辺情報

7.10 データ配布情報

配布識別名	配布バージョン	配布に関する説明
netCDF	4.7.3	

8. 系譜情報

8.1 データ処理 (1)

8.1.1 データセット作成に関する加工過程や履歴の説明

8.1.2 元データの情報

データ起源の引用名	加工するデータ起源の説明

9. 品質等

10. 利用規約

10.1 データ提供者によるデータ利用規約

このデータセットは、気象庁の明示的な同意なしには、部分／全体を問わずダウンロード又は利用いただくことができません。

利用申請にあたっては、以下のデータ利用規約の遵守に同意していただくようお願いしています。

- (1) データの利用上の注意点等について了解する。
- (2) 研究目的または公共の利益に資する目的の利用に限る。営利、広告、販売などのそれ以外の目的には利用しない。
- (3) 本データを利用した調査・研究を委託する場合を除き、第三者には提供しない。
- (4) 調査・研究の委託に伴う第三者への提供の際は、委託の終了後に当該第三者からデータを回収する。
- (5) 本データを用いた成果を公表する場合には、気象庁「日本沿岸海況監視予測システム再解析データセット」を使用したこと、及び、「日本沿岸海況監視予測システム再解析データセット」は気象庁気象研究所が開発した海洋モデル及び海洋データ同化システムを利用して作成したことを明記する。
- (6) 本データを用いた成果を公表した資料等を気象庁に提供する。
- (7) その他、気象庁の指示事項に従う。

[免責事項]

気象庁は、利用者が本データを利用することによって生じる、いかなる損害についても責任を負いません。

10.2 プロジェクトによるデータ利用規約

10.2.1 データ統合・解析システム

データ提供者がデータ利用規約を定めていない場合は、DIASサービス利用規約 (<https://diasjp.net/terms/>) およびDIASプライバシーポリシー (<https://diasjp.net/privacy/>) が適用されます。

DIASサービス利用規約とデータ提供者によるデータ利用規約に齟齬がある場合は、データ提供者によるデータ利用規約が優先して適用されます。

11. ライセンス

12. 謝辞の記載方法

12.1 データ提供者の指定による謝辞の記載方法

本データを用いた成果を公表する場合には、気象庁「日本沿岸海況監視予測システム再解析データセット」を使用したこと、及び、「日本沿岸海況監視予測システム再解析データセット」は気象庁気象研究所が開発した海洋モデル及び海洋データ同化システムを利用して作成したことを明記してください。

12.2 プロジェクトの指定による謝辞の記載方法

12.2.1 データ統合・解析システム

このデータセットを利用して学会発表，論文発表，誌上发表，報告などを行う場合は，以下を参考に謝辞を記載すること。また，データ提供者が示す謝辞の記載方法がある場合は，それも併記すること。

“本研究では、[データ提供者の名称]が提供する[データセットの名称]を利用した。またこのデータセットは、文部科学省の補助事業により開発・運用されているデータ統合解析システム(DIAS)の下で、収集・提供されたものである。”

13. 参考文献

Kei Sakamoto, Hiroyuki Tsujino, Hideyuki Nakano, Shogo Urakawa, Takahiro Toyoda, Nariaki Hirose, Norihisa Usui and Goro Yamanaka, Development of a 2km-resolution ocean model covering the coastal seas around Japan for operational application, *Ocean Dynamics*, 2019, 69: 1181. <https://doi.org/10.1007/s10236-019-01291-1>

Nariaki Hirose, Norihisa Usui, Kei Sakamoto, Hiroyuki Tsujino, Goro Yamanaka, Hideyuki Nakano, Shogo Urakawa, Takahiro Toyoda, Yosuke Fujii, and Nadao Kohno, Development of a new operational system for monitoring and forecasting coastal and open ocean states around Japan, *Ocean Dynamics*, 2019, 69: 1333. <https://doi.org/10.1007/s10236-019-01306-x>

広瀬成章，坂本圭，碓氷典久，山中吾郎，高野洋雄，日本沿岸海況監視予測システム10年再解析値（JPN Atlas 2020），気象研究所技術報告，2020，83. [10.11483/mritechrepo.83](https://doi.org/10.11483/mritechrepo.83)